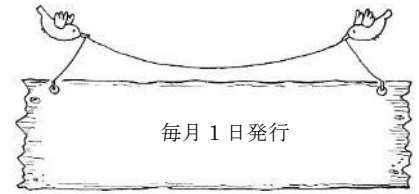




園 だ よ り



< 10 月の聖句 > あなたがたの名が 天に 書き記されていることを 喜びなさい。 ルカ 10 編 20 節

卒園した子どもと偶然に出会うことがあります。数年前に卒園した子どもですが、名前を呼ぶと照れくさい表情を見せてくれますし、自分も、名前を憶えられていることに、何だかすぐたく、ほっこりした気持ちにさせられるものです。人にはひとりにひとつずつ名前があります。どの人の名前も、その親達の願いがこめられた尊い名前です。何気ない日常生活の中で、私たちは一日何回自分の名前を呼んでもらうことでしょうか。コロナ禍で、人との距離を制限されることもありますが、名前を呼び合って活動することで、気持ちが交わる経験を子どもにはたくさん味わってほしいと願います。また、神さまがわたしたちのことを心に留め、名前を呼んでくださっていることと思うと感謝に堪えません。コロナ禍にありますが、共にいてくださる神さまによって力が与えられます。今月も感謝の祈りを捧げながら過ごします。 平田 敬子

< 月主題 >



0 歳児	やってみる	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒にさんびかを歌おうとする。 ・戸外で身体を動かす遊びを楽しむ。 ・周りのようすを感じとりながら、いろいろなことをしてみようとする。 	
1・2 歳児	たのしい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に賛美したり祈ったりする。 ・友だちや保育者と楽しんで身体を動かす。 ・自然の中のおもしろさや季節の変化を感じ、様々なものに触れながら楽しむ。 	
3 歳児	はずませて	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書のお話を聴く機会が増え、神さまの愛(みこころ)を共に感じる。 ・季節の移り変わりを感じる中で、身体を動かす心地よさを感じる。 ・リズムや音楽に合わせて、歌ったり身体を動かすことに心はずませる。 	
4・5 歳児		<ul style="list-style-type: none"> ・神さまが作られた世界、自然を五感で感じ、恵みへの感謝を賛美や祈りで表す。 ・ひとりでも友だちとでも、心と身体をはずませ夢中になって取り組み、深めたり創り出すことを楽しむ。 ・躍動の時と静まる時の両方を、豊かに心地よく過ごす。 ・絵本や物語をゆっくりと楽しむ。 	

<さんびか> 『 よろこびひろげよう 』 (ゴスペルフォーク)

『 ちから 』 (幼児さんびかⅡ15)

<おやつ音楽> 『 マーチパレード ~ベストオブマーチ~ 』



<行事> 2 日 (土) 運動会ごっこ (ほし・つき) * 予備日 5 日 (火) 6 日 (水) 避難訓練

7 日 (木) 体操教室① 19 日 (火) 誕生会 21 日 (木) 体操教室②

28 日 (木) 体操教室③ 29 日 (金) おたより配布

* 職員の行事

4 日 (月) 18 日 (月) 保健衛生・安全対策研修 9・10 日 (土日) 全国病児保育研究大会

13 日 (水) 全国保育士会研究大会 22 日 (金) 職員会議

力作の完成!! ~2021 世界体操・新体操選手権北九州大会によせて~



2021年10月18日から世界体操・新体操選手権大会が北九州市で行われます。世界各国から集まる選手にとって、戸畑区浅生スポーツセンターが練習会場の一つとなります。その選手への歓迎と応援を込めて、各幼稚園・保育園へ、戸畑区役所から、応援ボード作成の依頼があり、ナオミ愛児園でも、ほしぐみの子どもが力作を完成させました。大会期間中は練習会場になる浅生スポーツセンターへ飾られることになっています。

大会終了後には一般公開を予定。日時場所など詳細は、わかり次第、掲示物等でお知らせいたします。お楽しみに！

10月10日は目の愛護デーです

子どもの成長には、五感を使った遊びが重要です。

特に“目”から入る視覚的な情報は子どもに分かりやすく伝わります。

子どもが光刺激の強いスマートフォンなどを長時間視聴すると、視力の低下やドライアイ、急性内斜視を引き起こします。メディアは子どもを楽しませるものですが、時間を決めて楽しむこと、また傍で一緒に視聴して楽しさを共感したりしましょう。

生の声で絵本を読んでもらったり、一緒に歌を歌ったりという実際の経験が、より子どもの心身を豊かに育みます。

わらべ歌で遊ぼう！

♪あがりめ さがりめ くるっとまわって ねこのめ♪

と歌いながら、両人差し指で目じりを動かして遊びます。最後には目じりを中央に寄せて、目をしょぼしょぼさせると、子どもがにんまり笑顔になります。嫌がらなければ子どもの目じりに指をあてて動かすと楽しい触れ合い遊びになります。

伝承遊びの一つですが、本来は斜視の矯正として、目尻でなく、目玉をぐるぐる回すものだったとも言われます。やってみると案外難しいですが、大人でも目玉を動かしてみると、良い目の体操になりますよ。



おねがい・おしらせ

- ・欠席、遅刻の連絡は必ず9:30までにご連絡ください。(ナオミ愛児園 TEL871-3245)
- ・緊急連絡先、携帯番号、住所、勤務先等の変更がありましたらその都度事務室までお知らせください。
- ・朝夕冷え込みます。着用する上着に記名を確認し、かけ紐をつけていただきますようお願いいたします。